



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月31日

東

上場会社名 フジ日本株式会社

上場取引所

コード番号 2114

URL <https://www.fuji-nihon.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 曾我 英俊

問合せ先責任者 (役職名) 企画管理部部長

(氏名) 宮田 圭一郎

TEL 03-3667-7811

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	7,107	5.3	756	△8.3	879	△10.8	613	△14.8
2025年3月期第1四半期	6,747	12.0	824	77.2	985	△21.3	720	△25.3

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 934百万円(△49.4%) 2025年3月期第1四半期 625百万円(△50.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2026年3月期第1四半期	23	93	—	—
2025年3月期第1四半期	27	06	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	34,046	24,321	71.3
2025年3月期	33,761	23,874	70.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 24,279百万円 2025年3月期 23,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
2025年 3 月期	円 銭 —	円 銭 15. 00	円 銭 —	円 銭 19. 00	円 銭 34. 00
2026年 3 月期	—				
2026年 3 月期 (予想)		15. 00	—	19. 00	34. 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

(注)表示は、対前期増減率										
売上高			営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	29,100	3.1	3,100	△4.1	3,300	△9.6	2,300	△19.2	86	80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期1Q	25,718,700株	2025年3月期	25,718,700株
2026年3月期1Q	67,583株	2025年3月期	67,484株
2026年3月期1Q	25,651,166株	2025年3月期1Q	26,616,557株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載していましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しております。

なお比較を容易にするため、前連結会計年度及び、前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の関税政策の不確実性や、ウクライナ、中東情勢などの地政学的リスクの増大を受け、不安定な状況が続きましたが、企業業績は引き続き高い水準を維持し、実質賃金の改善から個人消費は持ち直しの動きがみられ、国内景気も回復傾向が続いてまいりました。しかし、食料品を中心とした長引く物価上昇による消費者心理へのマイナス影響などが、経済全体の下押しリスクとなっております。

このような環境下、当社グループでは、長期ビジョン「NEXT VISION 2040」における第1次中期経営計画「CHANGE 2028」は2年目を迎え、1. 東南アジアでの事業拡大、2. フードサイエンス領域の事業創出、3. M&Aを軸とした成長投資、4. ビジョン実現に向けた強い組織づくり、5. IRの強化と株主還元の5つの重点テーマで策定した計画を推進し、実績は堅調に推移しております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高7,107百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益756百万円（同8.3%減）、経常利益879百万円（同10.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は613百万円（同14.8%減）の増収減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、当社は、2025年4月1日付で組織変更を実施し、経営管理区分を変更いたしました。これに伴い、当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていたFUJINIHON (Thailand) Co., Ltd.の営む事業等を、「機能性素材事業」セグメントに移管しております。また、当第1四半期連結会計期間よりセグメント名称を従来の「精糖事業」から、「糖類事業」に変更しております。

セグメントごとの比較情報につきましては、上記セグメント変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値で比較しております。報告セグメントの詳細につきましては、2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）に記載のとおりであります。

① 糖類

海外原糖市況は、¢18.89（1ポンド当たり）で始まり、ブラジルでの乾燥懸念を受け¢19.63まで上昇しましたが、4月半ばには国際的な貿易戦争の懸念によるリスク回避から¢17台まで下落しました。5月半ばにはブラジルでの降雨や気温低下による収穫量減少懸念により¢18台に回復しましたが、その後世界的な供給増加が材料視され¢16～17台で推移し、6月末には¢15.48を付けました。

一方、国内製品市況は、期初東京現物相場（日本経済新聞掲載）249円～251円（上白大袋1キログラム当たり）で始まりました。製品の荷動きとしましては、4月は概ね天候も良く、春の行楽需要により人流も多かったことや4月中旬に開幕した大阪・関西万博効果もあり訪日客も増加傾向が続いており、インバウンドや万博効果で飲食や土産菓子用の出荷が好調となり前年同期比増となりました。利益面では、原材料費、物流コストが増加した結果、減益となりました。

以上の結果、糖類事業の業績は、売上高3,472百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益584百万円（同4.0%減）の増収減益となりました。

② 機能性素材

機能性食品素材「イヌリン」の国内販売は、機能性表示食品や健康訴求向けが好調で、前年同期に比べ販売数量が増加しました。海外販売ではタイ市場は大手ユーザーに加え新規販売先も増加し、また、東南アジア各国においても販売好調となったものの、設備更新に伴うコストアップにより、増収減益となりました。

連結子会社ユニテックフーズ株式会社は、主力商品であるペクチン、ゼラチン、コラーゲンの天然添加物素材の販売が好調に推移したこと、ブレンド事業、ODM事業も好調で、増収増益となりました。

以上の結果、機能性素材事業の業績は、売上高3,424百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益288百万円（同10.2%減）の増収減益となりました。

③ 不動産

不動産事業は、収益物件が引き続き安定稼働し収益確保に貢献しておりますが、2025年2月に資本効率向上の一環として、東京都、神奈川県、長野県所在の3物件を売却処分した結果、売上高156百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益142百万円（同4.8%減）の減収減益となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ0.8%増加し、34,046百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ0.9%減少し、17,544百万円となりました。これは主に棚卸資産の増加があったものの、現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことなどによるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ2.7%増加し、16,502百万円となりました。これは主に機械装置及び運搬具、投資有価証券が増加したことなどによるものであります。

② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ5.5%減少し、5,476百万円となりました。これは主に買掛金の増加があったものの、短期借入金、未払法人税等、未払消費税等が減少したことなどによるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ3.8%増加し、4,249百万円となりました。これは主に繰延税金負債が増加したことなどによるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1.9%増加し、24,321百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金、利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の連結業績は、2025年4月30日に開示しました連結業績予想に対して概ね計画どおりに推移しております。よって、2026年3月期の連結業績予想は修正しておりません。

なお、業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,644	6,061
受取手形、売掛金及び契約資産	4,239	3,888
商品及び製品	3,084	3,165
仕掛品	123	298
原材料及び貯蔵品	1,535	2,003
リース投資資産	946	944
その他	1,127	1,185
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	17,696	17,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	256	250
機械装置及び運搬具（純額）	326	394
土地	1,783	1,783
建設仮勘定	92	68
その他（純額）	154	166
有形固定資産合計	2,613	2,664
無形固定資産		
その他	32	41
無形固定資産合計	32	41
投資その他の資産		
投資有価証券	11,338	11,732
関係会社長期貸付金	1,583	1,583
退職給付に係る資産	171	178
その他	327	305
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	13,418	13,797
固定資産合計	16,065	16,502
資産合計	33,761	34,046

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,608	1,947
短期借入金	2,158	2,027
1年内返済予定の長期借入金	312	312
未払法人税等	671	247
未払消費税等	271	113
賞与引当金	167	86
その他	606	741
流動負債合計	5,795	5,476
固定負債		
長期借入金	2,348	2,334
繰延税金負債	1,129	1,303
資産除去債務	76	76
その他	538	534
固定負債合計	4,092	4,249
負債合計	9,887	9,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524	1,524
資本剰余金	2,048	2,048
利益剰余金	17,743	17,869
自己株式	△16	△16
株主資本合計	21,299	21,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,506	2,826
為替換算調整勘定	△14	△9
退職給付に係る調整累計額	36	36
その他の包括利益累計額合計	2,528	2,853
非支配株主持分	46	42
純資産合計	23,874	24,321
負債純資産合計	33,761	34,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	6,747	7,107
売上原価	4,900	5,299
売上総利益	1,847	1,808
販売費及び一般管理費	1,022	1,051
営業利益	824	756
営業外収益		
受取利息	9	10
受取配当金	121	122
持分法による投資利益	46	0
その他	10	13
営業外収益合計	188	148
営業外費用		
支払利息	10	13
為替差損	14	12
その他	3	0
営業外費用合計	27	25
経常利益	985	879
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	32
特別利益合計	—	32
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	985	910
法人税、住民税及び事業税	224	251
法人税等調整額	49	50
法人税等合計	273	301
四半期純利益	711	609
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△8	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	720	613

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	711	609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103	320
為替換算調整勘定	13	2
退職給付に係る調整額	0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	2	2
その他の包括利益合計	△85	325
四半期包括利益	625	934
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	634	939
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	△4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

1 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、2025年4月1日付で組織変更を実施し、経営管理区分を変更いたしました。これに伴い、当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていたFUJI NIHON (Thailand) Co., Ltd. の営む事業等を、「機能性素材事業」セグメントに移管するとともに、「その他」セグメントに含まれていた収益の分解情報のうち、「パン類等」につきまして、「機能性食品」に組み替えて表示しております。

また、当第1四半期連結会計期間よりセグメント名称を従来の「精糖事業」から、「糖類事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法及び名称により作成したものを記載しております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	糖類	機能性 素材	不動産	計			
売上高							
精製糖、 砂糖関連製品	3,320	—	—	3,320	—	—	3,320
食品添加物	—	57	—	57	—	—	57
機能性食品	—	3,138	—	3,138	—	—	3,138
切花活力剤	—	—	—	—	66	—	66
顧客との契約から 生じる収益	3,320	3,195	—	6,516	66	—	6,583
その他の収益	—	—	163	163	—	—	163
外部顧客への売上高	3,320	3,195	163	6,680	66	—	6,747
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	1	5	—	△5	—
計	3,324	3,195	165	6,685	66	△5	6,747
セグメント利益	609	321	149	1,079	20	△275	824

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益の調整額△275百万円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	糖類	機能性 素材	不動産	計			
売上高							
精製糖、 砂糖関連製品	3,472	—	—	3,472	—	—	3,472
食品添加物	—	52	—	52	—	—	52
機能性食品	—	3,372	—	3,372	—	—	3,372
切花活力剤	—	—	—	—	54	—	54
顧客との契約から 生じる収益	3,472	3,424	—	6,896	54	—	6,951
その他の収益	—	—	156	156	—	—	156
外部顧客への売上高	3,472	3,424	156	7,053	54	—	7,107
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	1	5	—	△5	—
計	3,476	3,424	157	7,058	54	△5	7,107
セグメント利益	584	288	142	1,015	10	△269	756

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益の調整額△269百万円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	45百万円	42百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。